

■推進方策（指標案）について

（1）進行管理の実施方法

計画の中間年次である概ね5年を目安に、成果指標（アウトカム指標）として本計画の上位計画である①総合計画基本構想の指標や②市民満足度調査結果、③都市計画基礎調査解析等の複数の要素から、都市の動向の把握に努める。

【都市の動向を確認する視点】

将来都市像を支える「都市づくりの目標」で行う。

将来都市像

今回の進行管理で
確認する視点

基本理念（都市づくりの根底となる考え方）

- 都市づくりの目標1** 多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり
- 都市づくりの目標2** 地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり
- 都市づくりの目標3** 安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり

6分野別の取組方針

土地利用／交通体系整備／自然・緑地整備／都市景観形成／住環境整備／都市防災

【指標の一覧】

将来都市像を支える「都市づくりの目標」	都市の動向を把握する指標	
1. 多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり ～まちの資源に磨きをかけていくことで魅力ある都市空間に～	① 総合計画基本構想の指標	② 市民満足度調査
2. 地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり ～にぎわいを生み出すことでまちやひとが元気に～		
3. 安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり ～日常生活に必要な都市機能を向上させ質の高い暮らしができる住環境に～		
		③ その他（都市計画基礎調査等）

※今回議論する部分

※成果指標、基準値、目標値は、総合計画基本構想改定後に適切な指標にし、整合を図る。

■都市の動向を把握する指標（案）

※指標、基準値、目標値は、総合計画基本構想改定後に適切な指標にし、整合を図る。

将来都市像を支える都市づくりの目標	目標とする状況	①総合計画基本構想の指標（現時点）	②市民満足度調査（現時点）	③その他
		都市づくりの動き、進捗を観察	市民の満足度	まちの移り変わり（方向）を観察
◆目標1 多様な個性と自然と文化が共生する都市づくり ～まちの資源に磨きをかけ、歩いていくことで魅力ある都市空間に～	【豊かな自然】 海や里山、川等の自然を身近に感じられる	・市域面積における緑地面積率	D1：市街地と自然環境が調和した土地利用 D10：海岸、河川、里山等の自然とレクリエーション環境 D14：農業や漁業の振興と農地・海浜の保全活用	●「あなたは、どんなところに本市の魅力を感じていますか」に対する「自然や緑、水が豊か」の選択割合
	【魅力あるまちの資源】 史跡や公園、お洒落なお店等、居心地が良く、出掛けたい場がある	・「まちなみ・景観に満足している」と思う市民の割合 ・市民1人当たりの都市公園面積 ・農業従事者1人当たりの年間農業産出額 ・耕地面積 ・耕作放棄地面積	D4：地域の特性を生かしたまちなみ・景観 D5：樹林や生垣、庭など、自宅周辺の緑 D9：やすらげる身近な公園や緑地 (再掲)D10：海岸、河川、里山等の自然とレクリエーション環境 (再掲)D14：農業や漁業の振興と農地・海浜の保全活用	●「過ごし方調査（中央公園、鉄砲通り等）」（整備した空間がどのように使われているか、使用人数等を調査） ●「自分らしく心地良く過ごしている」と思う市民の割合 ●外出の頻度 ●「出かけたくなる場が増えている（選択肢の増加）」と考える市民の割合
◆目標2 地域や経済の活力が「茅ヶ崎」の魅力を育む都市づくり ～にぎわいを生み出すことでまちやひとが元気に～	【拠点への機能集約】 人が多く集まる拠点では、スーパーやカフェ等のお店の他、病院や映画館等様々な時間の使い方ができる	・市内事業所数と従業者数	D2：駅周辺の市街地の快適性や利便性、にぎわい D13：多くの人々を誘う魅力ある商工業、観光の振興 D15：働きやすい職場の環境や勤労者への福祉 D16：地域特性を生かした都市の拠点	●都市拠点ごとの施設充足状況（商業機能、文化・交流機能、医療機能等） ●15歳以上就業者のうち市内で働く就業者の割合
	【楽しく、快適・便利な移動】 出掛けたい場所まで、徒歩や自転車で気軽に移動でき、草木等の季節を感じる等移動も楽しく、まちなかで過ごしている	・年間公共交通利用回数（市民1人当たり）	D3：鉄道やバスなどの公共交通の利便性	●来街者数（延観光客数） ●（再掲）外出の頻度 ●（再掲）「過ごし方調査（中央公園、鉄砲通り等）」（整備した空間がどのように使われているか、使用人数等を調査） ●公共交通利用圏域別カバー率 ●市民1人当たりの保有台数（車、自転車）
	【質の高い生活】 家の近くに、公園やオープンスペース等があり、顔の見える関係が築かれている	・市民1人当たりの都市公園面積	(再掲)D9：やすらげる身近な公園や緑地 (再掲)D10：海岸、河川、里山等の自然とレクリエーション環境	●都市公園等のカバー圏域外人口 ●気軽に顔を出せる場所の有無の割合 ●ボランティア活動に参加している市民の割合 ●地域でのオープンスペースや空き家等の利活用状況 ●「地域に支え合いの仕組みがあり、安心して生活できる」と思う市民の割合
◆目標3 安全・安心、快適、便利な市民生活が実現できる都市づくり ～日常生活に必要な都市機能を向上させ質の高い暮らしができる住環境に～	【安全・安心】 安全・安心な暮らしができる	・特定建築物や住宅の耐震化率 ・公共下水道（汚水）整備率 ・公共下水道（雨水・雨水幹線）整備率 ・河川整備の進捗率 ・高齢者・障害者等に配慮した良質な市営住宅の供給戸数	D6：建築物の防火性とバリアフリー化等による人にやさしいまち D8：自宅周辺の生活道路の安全性・快適性 D11：安全で環境に配慮しただれにもやさしい公共建築物 D12：公共下水道の整備状況	●交通安全教室、自転車ルール講習会の参加人数 ●自主防犯活動団体の人数 ●「住まいで困った際、誰かに相談できる」と思う市民の割合 ●準防火地域指定後の防火性能向上率 ●狭隘道路率（道路の閉塞率） ●「本市の防災対策が進められている」と思う市民の割合
	【（再掲）魅力あるまちの資源】 家の近くに居心地の良い公園や魅力的なお店等、出掛けたい場がある	・（再掲）「まちなみ・景観に満足している」と思う市民の割合 ・（再掲）市民1人当たりの都市公園面積	(再掲)D5：樹林や生垣、庭など、自宅周辺の緑 (再掲)D11：安全で環境に配慮しただれにもやさしい公共建築物	●（再掲）「過ごし方調査（中央公園、鉄砲通り等）」（整備した空間がどのように使われているか、使用人数等を調査） ●（再掲）「自分らしく心地良く過ごしているか」と思う市民の割合
	【（再掲）快適・便利な移動】 出かけたくなる場所まで、徒歩や自転車、公共交通で気軽に移動できる	・（再掲）年間公共交通利用回数（市民1人当たり） ・都市計画道路の整備率 ・道路の歩道整備延長	(再掲)D3：鉄道やバスなどの公共交通の利便性 D7：近隣市や地域を結ぶ幹線道路や橋 (再掲)D8：自宅周辺の生活道路の安全性・快適性	●（再掲）「過ごし方調査（中央公園、鉄砲通り等）」（整備した空間がどのように使われているか、使用人数等を調査） ●（再掲）公共交通利用圏域別カバー率 ●（再掲）市民1人当たりの保有台数（車、自転車）
	【質の高い日常生活】 家の近くに日常生活に必要なスーパーや保育園、診療所等がある	・（再掲）高齢者・障害者等に配慮した良質な市営住宅の供給戸数	—	●沿道ゾーン等における商業系の床面積 ●施設毎の徒歩圏内人口（子育て機能、医療機能、福祉機能、商業機能等） ●「安心して子育てができる環境である」と思う市民の割合